



平成 24 年 2 月 17 日

各位

会 社 名 株式会社ディー・ディー・エス
代 表 者 代表取締役社長 三吉野 健滋
(東証マザーズ・コード番号 3782)
問 合 せ 先 I R 室 長 鈴木 達也
電 話 番 号 0 5 2 - 5 3 3 - 1 2 0 2
(URL <http://www.dds.co.jp>)

平成23年12月期 通期業績予想と実績値との差異、
特別損益発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 12 月 28 日に公表いたしました平成 23 年 12 月期通期（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）の連結ならびに個別の業績予想と実績の差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 12 月期通期業績予想と実績の差異（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	525	△62	△101	0	0 円 00 銭
実績値 (B)	519	△59	△90	△8	△32 円 55 銭
増減額 (B-A)	△6	3	11	△8	—
増減率 (%)	△1.1	—	—	—	—
前期実績 (平成22年12月期)	457	△107	△159	△255	△2,093 円 54 銭

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	525	△46	△65	45	175 円 24 銭
実績値 (B)	517	△45	△74	△30	△116 円 08 銭
増減額 (B-A)	△8	1	△9	△75	—
増減率 (%)	△1.5	—	—	—	—
前期実績 (平成22年12月期)	457	△88	△115	△218	△1,795 円 21 銭

※当第4四半期に貸倒引当金の見直しを行ったこと等により、利益が減少したため業績予想と実績の差異が生じました。また、為替レート変動の影響により為替差損が21百万円減少いたしました。

2. 特別利益の内容

韓国子会社（DDS Korea, Inc.）の売掛金の回収が実現したことにより、連結で59百万円の貸倒引当金戻入額を計上いたしました。

3. 特別損失の内容

平成23年11月14日に「営業外費用および特別損益発生に関するお知らせ」で開示した違約金に関する訴訟の貸倒引当金は、その後の回収可能性につき、再度相手先の財政状態等を検討した結果、47百万円を追加で引当てることとなり、連結および単体で47百万円の貸倒引当金繰入額を計上いたしました。また、平成24年1月10日に「本店移転に関するお知らせ」を開示しましたが、その際発生した本社移転に伴う損失として、連結および単体で14百万円の賃貸借契約解約損を引当ていたしました。そのほか、連結および単体で、固定資産除却損として3百万円、減損損失5百万円、和解金1百万円、事務所移転費用65万円を計上し、資産除去債務および為替差損益の調整等により前期損益修正損は連結で16百万円、単体で3百万円計上いたしました。

以 上